

防災・減災コース

家族や地域の人々を守る防災術

～自然災害から学んだことを明日へ「つなぐ」～

全国的に発生している自然災害。防災に対する意識は高まっています。

本講座では、自然災害の恐ろしさを決して忘れないために、防災・減災に対する考え方や本当に必要な情報を整理して学びました。



第1回

熊本の自然災害 ～学びを明日へ「つなぐ」～

熊本大学大学院 先端科学研究部
准教授

竹内 裕希子 先生

熊本で起きた災害について学び、その記録を伝え次に備えるアーカイブ資料である「ひのくに災史録」についてお話いただきました。



第2回

想像力を高めて「もしも」に備える！ ～災害対応ゲーム「クロスロード」～

くまもとクロスロード研究会
徳永 伸介 先生

防災の問題一般を「我が事」として考えることのできる「クロスロード」という災害対応ゲームについてお話いただき、実際にゲームを体験しました。



第3回

「地域のつながりづくり」が命を守る ～住民共助による避難所運営から学ぶ～

西原村議会議員
堀田 直孝 先生

熊本地震の際の経験から、避難所運営に必要な平時の準備や、運営時の課題や配慮するべき点についてお話いただきました。



第4回

今すぐにできる「災害への備え」 ～室内の安全対策、備蓄、持ち出し品～

くまもと県民カレッジ認定講師
防災士
松下 智幸 先生

防災士の視点から、室内の安全対策や備え、非難時の注意点、また、これまでの災害対応の経験からの想いについてお話いただきました。



第5回

災害発生時に取るべき行動を整理する ～マイタイムラインの作成～

熊本大学大学院 先端科学研究部
准教授

竹内 裕希子 先生

災害発生時の行動を計画する「マイタイムライン」の考え方や、避難所の運営について、災害時の調査から得られた教訓についてお話いただきました。



▲第2回目の様子
5人ずつのグループに分かれ、「クロスロード」を行いました。



▲第4回目の様子
備蓄品について、実物を持参していただき説明を受けました。

受講生の感想

- ・ 防災・減災の中身の理解と災害時にどう行動するかの意識づけになった。
- ・ 防災については、何事もないとつい忘れてしまいがちになるので、意識をもつ事が大事!!
- ・ 災害発生時に取るべき行動・避難所運営など、5回の講座で詳しく知ることが出来た。
- ・ 防災・減災に対する行動に正解はないと伺い、知識を深める必要性を改めて感じた。